CHICKEN JEORGE LIVE SCHEDULE AND YOURS

1983
6/1 ～ 6/30

2-17-15 SHIMOYAMATE DORI CHUO-KU KOBE
IKUTA JINJYA NISHIMONMAE NEW EMPEROR BILD.2F
CALL 078 392―0146 P.M. 5:00―A.M. 1:00

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1 曙 光	2 Street Sliders	3 SOUTHERN CROSS	4 来生たかお ファンの集い 12:00～ PINK CLOUD 8:00～
5 上田正樹 前売券売切れ	6 NATIVE SON Sax. 峰 夏介 Kyb. 本田竹曠 Drs. 村上 寛 G. 大出元信 Tb. 福村 博 B. グレッグ・リー	7 HANG RAIJI Drs. 川口雷二 他	8 J―WALK	9 円道一成	10 上田正樹 前売券売切れ	11 白 鳥 座
12 WEEKIDS	13 WIPE OUT VS Missty	14 PANTA	15 ROXY VS Jumpin' Jox	16 渡辺真知子 WELCOME INTO MY HEART	17 菅まなみ & ボトムヒート	18 A.R.B 前売券売切れ
19 大江千里	20 爆風スランプ VS Poco Poco	21 Seaside Breakers	22 M―BAND	23 泉州たまねぎファイターズ VS Free Ride	24 CHAKRA	25 やしきたかじん
26 ITACHI	27 サマリア	28 AB'S G. 芳野藤丸 松下 誠 B. 渡辺直樹 Drb. 岡本郭男 Kyb. 安藤芳彦	29 原 正憲 & ウイスキー・フラット	30 CONJUNTO Per. 田中道明 木村マコト Willie 長崎 Pf. 森村 献	7/1 MICHAQUINO Syn. 津垣博通 B. 高橋ゲタ夫 Drs. マーティン・ウィルウェバー Tb. 山口卓也	2 THE WOOD Kyb. 上綱克彦 G. 石井清登 Sax. 鈴木明男 Drs. 四ツ田ヨシヒロ Vo. 楠木恭介 B. 伊藤久え

CHICKEN JEORGE'S LIVEPICKS

6月19日 大江千里

王女ユーミンがもし王子に生まれついていたら
こんな曲をつくるであろうといわれる大江千里
早くから帝王学をおさめた彼は
作詞作曲、すべておんみずからおつくりになる。
大村憲司という、世にもまれなる最強のナイトを得て
5日21日、いよいよ初陣なさるとか。めでたし、めでたし。

6月6日 ネイティブサン

通算5枚目にあたるこのアルバムは、全曲メンバーのオリジナルによるもので、本田竹曠(Key.)をはじめ、村上寛(Dr.)大出元信(Guit.)そして、新メンバーのグレッグ・リー(Bass)らの曲で構成され、全7曲もバラエティに富み、軽快なポップな曲から、都会的なスピード感のあるジャージーなもの、又太陽をからだ全体に感じられる陽気な曲など など、今までにないネイティブサンの魅力もふんだんにもり込まれて、ソロプレイが楽しめるはずです。

6月28日 AB'S

名うてのミュージシャンが集まれば、即スーパー・グループができるというものではない。が、ここにひとつ、そんな言葉をくつがえすようなグループが誕生した。芳野藤丸を筆頭に、松下誠(Vo、G)、安藤芳彦(Vo、Kb)、岡本郭男(Vo、Ds)、渡辺直樹(Vo、B)を擁するAB'S がそれだ。

全員が作詞、作曲、編曲、歌、演奏と、完全セルフ・プロデュースの可能なこのグループ。これまでのロック・バンドにはけっして見ることができなかったくらいの強力なリズム隊とメロウなコーラスをフィーチャーし、さまざまな音楽のエッセンスを、幅広い音楽性の中で消化して生み出されるサウンドは、ハイ・ブロウとすらいえる空気と、まれにみるポップス性を感じさせてくれる。

なお、AB'S というネーミングは、全員の血液型がＡＢまたはＡ型だということからつけられたもの！

6月18日 A・R・B

ARBが君達におくる熱いメッセージ「トラブル中毒」デビューから5年、6枚目のLPで到達したARBロックンロールの頂上。今までにもましてバラエティに富んだ曲作りと、明るさの漂よう曲調、その中にキラリと光る鋭いメッセージ。「トラブル中毒」は時代を鋭く切りとった胸のすくようなロックンロールだ。

6月7日 HANG RAIJI

今や難かしい時期を迎えている日本のフュージョン界。目下流行のリズム・パターンを安易に取り入れただけの、何々風サウンドといった趣きのコピー・バンドがプロフェッショナルの世界で平然と存在しているのは本当に残念なことだが、この"ハング・ライジ"という一見勇ましそうなグループ。ひさびさにインスト主体の正攻法で勝負できる実力あるライブ・プレイヤーの集合体として、かなりの魅力があると言っていい。

リーダーの川口雷二(ds)は名ジャズ・ドラマー、ジョージ川口氏の次男にあたる。川口を中心に"ハング・ライジ"の主要リズム・セクション4人が結ばれたのは '79年12月、成蹊大学の音楽サークルでのことだったという。